投稿規定（2019.01.16から）

1．投稿内容について

石川県作業療法士会会員が相互に研鑽し，発展していくための学術誌として発行します．内容は以下のものを掲載します．ただし他誌に発表された論文，または投稿中の論文はお断りします．

① 作業療法実践に基づく**実践報告**（生涯教育の症例報告を含む），石川県作業療法学会の**報告**

② 会員個人や研究会・勉強会による**研究報告**

③ 石川県作業療法士会主催で行った学術研修会等の講演内容の**報告**等

2．倫理的事項について

著者は，著作権や研究対象者の人権の尊重に努めて下さい．

3．著者について

投稿内容①，②について，筆頭著者は原則として本会の会員に限ります．投稿内容③に該当する場合および共著者は本会会員でなくても構いませんが，作業療法士である場合は本会会員であることを条件とします．ただし，作業療法の発展に特に寄与すると編集委員会が認めた場合はこの限りではありません．なお，**著者の数は原則として６名**までとし，それを超える場合は理由を記した書面を編集委員会に提出して，例外的採否の判断を仰ぎ，その指示に従って下さい．

4．論文の種目と長さについて

論文の種目と長さの基準は以下の通りです．

① 研究論文：論文の長さは，本文，文献，図・表合わせて400字詰原稿用紙32枚以内とし，仕上がりＡ４用紙10頁以内とする．図・表は１枚１点で原稿用紙１枚として換算する．

② 実践報告：作業療法実践に基づく実践報告，学会報告：本文，文献，図・表合わせて400字詰原稿用紙24枚以内，仕上がりＡ４用紙８頁以内とする．図・表は１枚１点で，原稿用紙１枚として換算する．

③ 短報および報告：石川県作業療法士会主催で行った学術研修会等の講演内容の報告等：②に準じる．

5．利益相反について

投稿に際しては，**利益相反に関する情報開示が必要**です．本文の最後（引用文献の前）に「利益相反」と見出しを付けて記載してください．著者全員に利益相反が無い場合は，「開示すべき利益相反はない」と記載し，利益相反のある著者がいる場合は，その氏名とその利益相反について全て列挙してください．

6．採否について

原稿の採否は，編集委員会において決定します．場合により，加筆，修正をお願いすることがあります．また，編集委員会の責任において，多少の字句を訂正することがあります．なお，所定の枚数や「執筆要領」に違反した論文は採用しません．ただし編集委員会で超過を認めた場合に限り，掲載することがあります．

7．校正について

著者校正は原則として１回とします．指定の期限内に返送して下さい．なお，校正は誤字脱字の修正，図・表の配置等の修正だけで，新たな加筆，改編は認めません．

8．投稿の手続きについて

執筆形式は，後出の執筆要領にそっていることを確認して下さい．提出された原稿，図・表はお返しします．下記宛に，Microsoft wordファイルを電子メールにて送信して下さい．

学術部　学術雑誌編集担当　　E-mail：gakujutsu@ishikawa-ot.or.jp

＊本誌に掲載された論文の著作権は，公益社団法人石川県作業療法士会に帰属します．

Presented by Medical*Online

執筆要領（2014.9.16から）

【投稿内容①，②について】

1．原稿は全て**横書き**とし**Microsoft word 2010以降のバージョン**を用いてＡ４用紙に**40字×20行**を見やすく配列して下さい．

2．**論文**は，表題頁，要旨，本文，文献，図・表からなるものとします．

3．**表題頁**には，**論文種目**（研究論文，実践報告など），表題，著者名（６名まで「投稿規定」３を参照），所属，キーワード３個を記載して下さい．

4．すべての論文に，400字以内の**要旨**をつけて下さい．

5．**論文（本文）**はMS明朝10.5ポイントで作成して下さい．また句読点は「,」「.」で統一して下さい．

6．論文の**本文**は，原則として，はじめに，症例紹介，評価，経過（研究論文では対象，方法），結果，考察，結論を【　　】で明記して書いて下さい．また，原稿には**頁番号**をつけて下さい．

7．**文章表現**は以下の点に留意して下さい．

① 現代かなづかいとし，数字は算用数字，数量は国際単位系（SI単位）記号を用いる（例 m，cm，mm，mℓ，kg，㎡など）．

② 外国人の人名には原語を用い，活字体で明瞭に書く．

③ 術語はできるだけ訳語を用い，必要に応じて（　　）内に原語を入れる．日本語化しているものはカタカナとする．

8．**倫理上の配慮**について，ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行って下さい．

9．**文献リスト**は引用文献のみとし，著者の姓のＡＢＣ順または引用順に配列して下さい．著者名は，３名までを記載し，３名以上は“他”とすることを原則とし，表記の形式は以下の例にならって下さい．

－例－

雑誌：著者名．論文名．誌名 巻数：ページ数，出版年．

1）平田清文，森木光司，小原武博，他．家庭環境．日本臨床 43：747-755，1985.

2）Johnson CR. Aquatic Theraphy for an ALS Patient. Am J Occup Ther 42: 115-120, 1998.

図書：著者名．章の見出し．書名．編者名．版表示，出版地，出版者，出版年，ページ数．

3）米倉豊子．内科的疾患に対する作業療法．作業療法各論（リハビリテーション医学全書10）．原，鈴木・編．東京，医歯薬出版，1978，pp. 393-406.

4）Mosey AC. Psychoscial Components of Occupational Theraphy. New York, Raven press, 1986, pp. 115-130.

10．**図・表**は次の点に留意して下さい．

① **図**は**白黒で印刷**されるので，鮮明でそのまま製版できるものを準備する．

② **写真**は（図として扱う）は，カラー写真より白黒写真の方がよい．トリミングを工夫する．

③ **図・表**はすべて表題をつけ，それぞれ**本文とは別**にまとめる．図は表題のほかに説明もつける．

④ 本文中および欄外に図，表の**挿入場所を明示**する．

⑤ 引用・転載の図・表は，それぞれの出典を明記する．

【投稿内容③について】

1．原稿は全てMicrosoft word 2010以降のバージョンを用いて作成して下さい．

2．冒頭に種目（報告，短報等）を明記して下さい．

3．論文は，表題頁，本文，文献，図・表から成るものとします．

4．表題頁には，表題，著者名（６名まで，「投稿規定」３を参照），所属を記載して下さい．

5．論文の本文は原則として，はじめに，方法，結果，考察，結論が明らかになるように書いて下さい．

6．文章表現については，【投稿内容①，②について】の７と同様とします．

7．文献リストは【投稿内容①，②について】の９と同様とします．

8．図・表についての留意点は【投稿内容①，②について】の10と同様とします．

Presented by Medical*Online